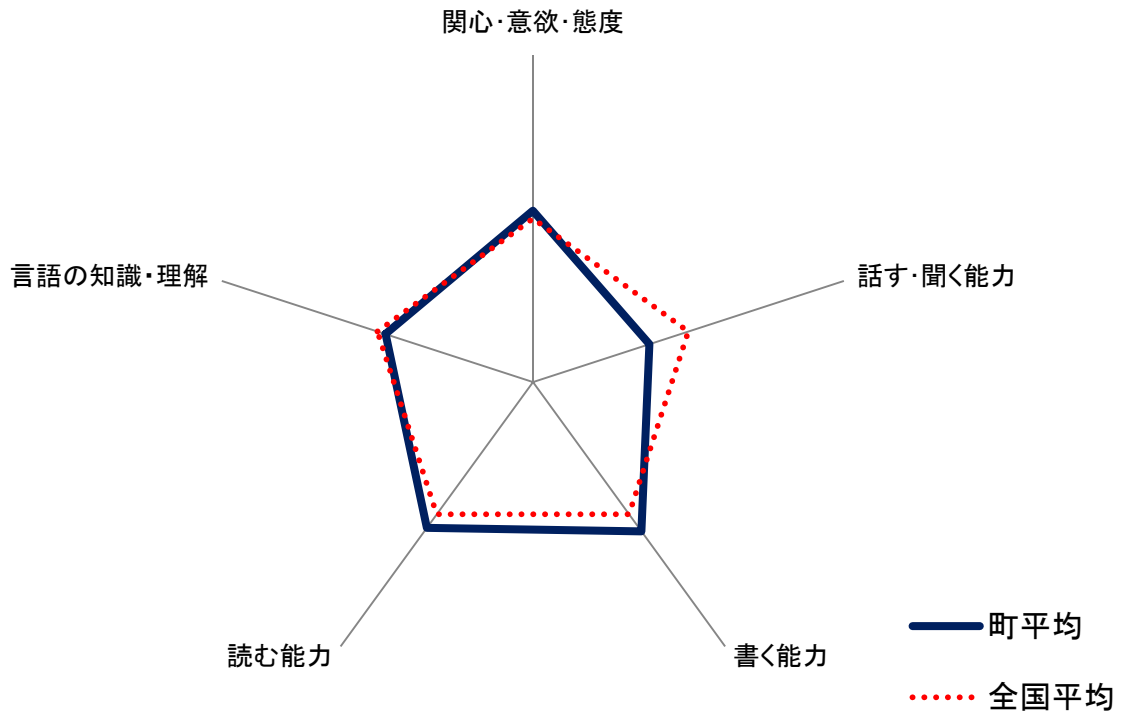


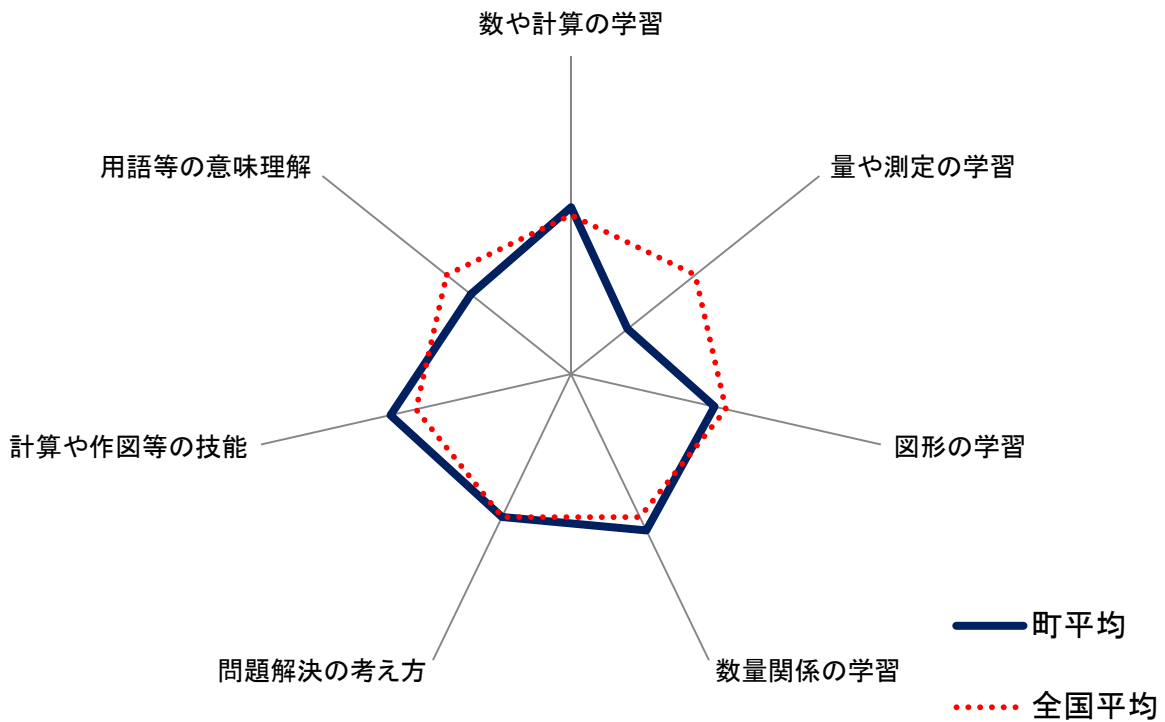
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

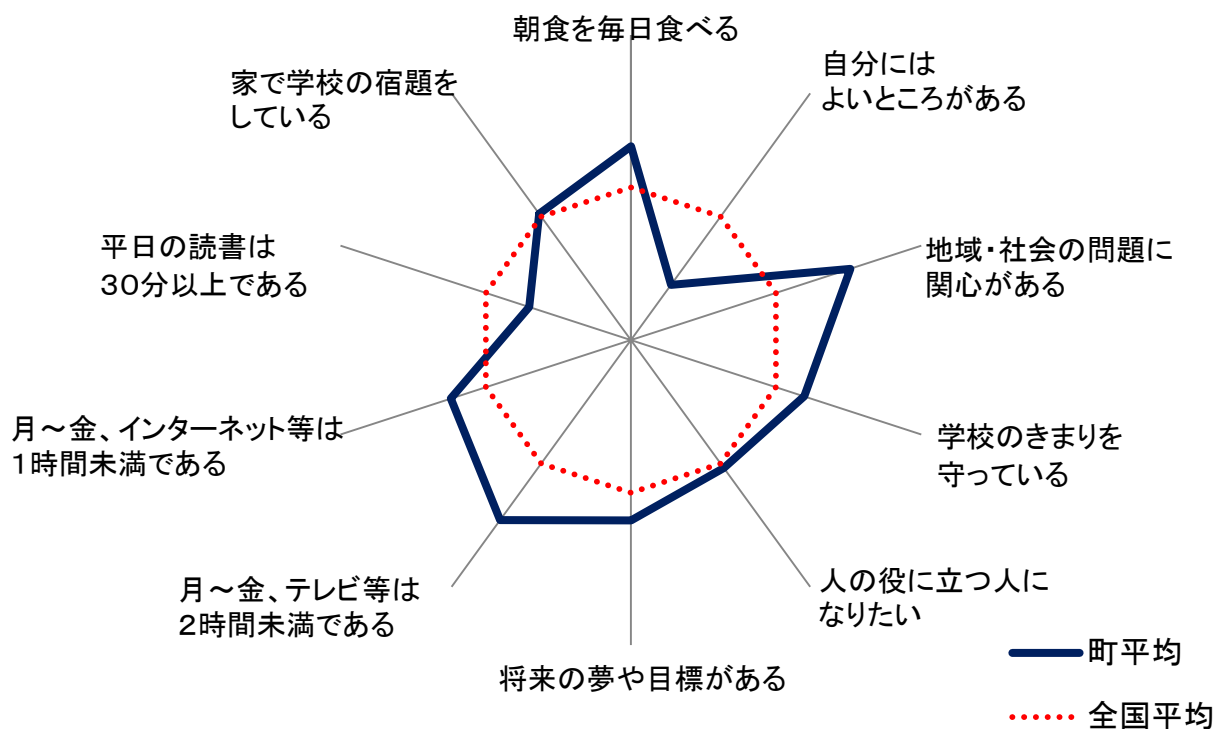
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 分析

国語、算数ともに、それぞれ1項目を除き、全国平均とほぼ同じか上回っている。特に国語は「話す・聞く能力」、算数は「量や測定の学習」の各項目に課題が見られる。目的や意図に応じて話の構成や内容を工夫して話したり、三角形や平行四辺形の面積の求め方を多様に考えたりする指導の充実が大切である。

児童質問紙調査は、2項目を除き、肯定的な回答が全国平均とほぼ同じか上回っている。特に「地域・社会の問題等への関心」、「平日のテレビ等の視聴時間」の各項目は良好である。「自分にはよいところがある」、「平日の読書時間」の各項目に課題が見られ、学校の教育活動全体を通して、自己肯定感を高める指導や児童が自ら進んで読書をするような指導を行うことが大切である。